

1 題材名 献立作りと食品の選択

2 題材の目標

- 食品の選び方に関心をもち、食生活をよりよくしようとしている。 (生活や技術への関心・意欲・態度)
- 用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 (生活を工夫し創造する能力)
- 身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。 (生活の技能)
- 食品の選択における観点や、生鮮食品と加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解している。 (生活や技能についての知識・理解)

3 指導に当たって

本題材は、中学生の1日分の献立作成と食品の見分け方に関する学習を通して、栄養を考えた食事の計画と食品の選択についての基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、これからの健康的な食生活を工夫しようとする能力や態度を育むことを主なねらいとしている。

(平成*年*月*日 第1学年*組 *人実施)

1.	食品を自分で選択し、購入したことがありますか。	はい *人	いいえ *人
2.	食品を選択するときに気をつけるポイントは何ですか。(複数回答可)		
	味 *人	見た目 *人	値段 *人
	原材料 *人	販売者(メーカー) *人	賞味期限 *人
	食品添加物 *人	遺伝子組み換え表示 *人	栄養成分 *人
			アレルギー表示 *人

本学級の生徒は、ほとんどの生徒が自分で食品を選択し購入した経験がある。しかし、選択するときに着目するのは、味や見た目、値段などの外観的なものが主であり、表示を見て判断をする習慣はなかった。

本時は、加工食品であるジャムのラベル作成する課題を通して、加工食品の表示内容を考えられるようにしたい。

4 探究的・対話的な学びのための手立て

食品の選択や購入について多面的にとらえられるようにするため、グループ活動を取り入れ、意見を交換・共有しながら自分の考えを広げたり深めたりする場を設定する。

5 指導と評価の計画(8時間扱い) 本時は第2次の第2時

- 第1次 1日の献立作り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- 第2次 食品の選択と購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

時	学習内容	評価の観点					評価規準
		関	工	技	知	方法	おおむね達成
1	○ 生鮮食品や加工食品の特徴を知る。 ○ 食品選択の観点や良否の見分け方について知る。	○			◎	ワークシート 観察	生鮮食品と加工食品の特徴を理解し、良否を見分けることができる。
②	○ 加工食品を選択するときに必要な情報について知る。				◎	ワークシート 振り返りカード 観察	食品の表示から情報を収集し、整理することができる。
3	○ 加工食品に必要な情報を整理し、ラベルを作成する。		◎	○		作成したラベル 振り返りカード	情報を整理し、ラベルを作成することができる。
4	○ 作成したラベルの情報を共有し、食品表示から必要な情報を収集する方法について話し合う。	◎	○			作成したラベル 観察	話し合いを通して、よりよい表示の仕方について考えることができる。

6 本時の学習

(1) 目標

様々な加工食品のパッケージにある表示を比較したり分類したりする活動を通して、加工食品の表示に必要な情報について理解することができる。

(2) 準備・資料

ワークシート, スライド資料, 手作りのジャム, 市販のジャム, 加工食品の表示資料, 振り返りカード

(3) 展開

※探究的・対話的な学びに迫るための工夫

学習活動	時間	指導上の留意点 (評)は評価基準)
1 前時の学習を振り返り, 本時の学習課題を確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品と加工食品の特徴について振り返ることができるように, 前時の学習内容をスライド資料で提示する。 ・興味関心を高められるよう, ジャムの調理工程を示す。
加工食品のパッケージは必要なのか。		
2 ジャムのラベルに必要な情報について話し合う。 ・原材料名 ・賞味期限 ・名称 等	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャムのラベルに必要な情報を考えるために, ジャムを自分で作って食べる場合と手作りジャムを購入する場合を比較する。 ・食品表示を想像しにくい生徒には, どのような情報が表示されていれば安心して購入することができるかを考えるように助言する。
3 加工食品の表示を読み取り, ラベル作成に必要な情報を話し合う。 (1) 様々な加工食品の表示を読み取り, 共通する項目について話し合う。 (2) 新出の言葉や情報を共有し, 表示される理由について話し合う。 ・食物アレルギーの表示について ・食品添加物の表示について ・遺伝子組み換え食品とは	17分	<p>※一人一人が意見を発表しやすい環境にするために, グループ形態にする。また, グループごとに異なる資料を提示し, 様々な食品の表示について調べ, 比較したり情報を共有したりできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にも理解できるように, スライド資料を用いて, 新出の言葉や情報についてまとめる。 ・生徒が自分自身の経験と関連させて考えられるように, 身近な事例や実物を用意する。 <p>※表示を読み取るだけでなく, なぜその表示が必要なのか, 記載されている理由を考えるよう助言する。</p>
4 ラベル作成に必要な情報をまとめる。 ・原材料名 ・賞味期限 ・保存方法 ・製造者 ・名称 ・アレルギー ・栄養成分 ・内容量 等	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・得られた情報を整理し, ジャムのラベル作成に必要な情報をまとめられるようなワークシートを用意する。 <p>(評) 食品の表示から, 選択するために必要な情報を収集し, 整理することができる。</p> <p>(ワークシート, 観察, 振り返りカード)</p>
5 本時の学習を振り返り, 次時の確認をする。 ・食物アレルギーの人のために, 加工食品には, アレルギー物質の表示があることがわかった。 ・パッケージにはたくさんの情報が表示されているので, 必要な情報を得ることができるように, 表示を見比べて判断するようになりたい。 ・保存方法が分からないと, 食中毒の危険性などがあることに気付いた。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で得た知識を, 今後の生活にどのように生かしていけるかの視点で振り返りができるように助言する。 ・学習の見通しがもてるように, 次時は, 本時で学習した加工食品の表示をもとに, ジャムのラベルを作成することを確認する。